

会員交流会が
開催されました



十一月十二日(日)、参加者十七名(事務局・講師の方を含む)で友の会交流会として、そば打ち体験が行われました。

コロナ禍で、長い間開催を見合わせていましたが、会食等の制限がなくなったことから、今回の交流会の実施となりました。

初めて顔を合わせた方々も、班の中で協力しながら楽しくそばを打っておられました。参加された皆さんが口を揃えて「美味しい」と言っておられました。



デモンストレーションの様子
講師の方が実際にそばを打ちながら説明しました。

最後に安部副会長がリーダーとなり、参加者全員で手遊びをしたり、限定三名のお土産じゃんけんをしたりして、終了しました。

参加された会員の方から「楽しかった」「また開催してほしい」との声をいただき、好評のうちに終了しました。

夕鶴の里資料館報
令和5年12月10日
第 156号
発行 夕鶴の里
TEL:47-5800



茹でたてのそばを、天ぷらと漬物と一緒に食べました。



そば打ち体験の様子
会話を弾ませながら班の人と協力してそば打ちを体験しました。

大竹副会長が珍藏寺の大銀杏の木の下で語りを披露しました。



十一月八日(水)、寒河江昔語りの会の皆さんが、研修の一環で夕鶴の里にいらっしやいました。当日は突然の停電があったため映像をお見せすることができませんでした。が、民話会ゆうづるの白岩会長の「鶴の恩返し」の語りを聞き、資料館を見学していかれました。

その後珍藏寺へ移動され、珍藏寺にある大銀杏の木の下で、大竹副会長が「大銀杏と与兵エドの」の語りを披露しました。

ゆかりの地での民話を堪能し、とても喜んで帰られました。

寒河江昔語りの会の
皆様が来館されました

昔のあそび
押し花カレンダー作り
を行いました

十一月十八日(土)昔のあそびを開催しました。今回は「押し花カレンダーを作ろう!」という事で、いろいろな種類の花や葉っぱの押し花をつかって、一月〜六月までのカレンダー作りを行いました。

子ども達の想像力は素晴らしく、押し花を組み合わせてツリーを作ったり、リースを作ったりなど、アイデア満載のカレンダーができあがりました。

参加者の中には昨年も参加したことがある経験者も多く、とてもスムーズにカレンダーを作り上げ、七月以降のカレンダーを作っている方もいました。

最後にお土産としてドライフラワーのミニブーケを差しあげました。

次回は一月二十日(土)に「だんご下げ」を行います。ぜひご参加ください。



山形大学フィールドプロジェクト
閉講式が行われました

十一月二十五日(土)、山大生民話語り部体験の民話の発表と閉講式が行われました。

十月七日(土)の開講式から全四回にわたって行われ、語り部講座のほかに、南陽市ゆかりの地めぐり、そば打ち体験、機織り体験を行いました。

閉講式の語りの発表では今までの練習の成果が発揮された素晴らしい語りを披露していました。

年末年始休館の
お知らせ

12月29日(金)~
1月3日(水)

まで休館になります。



11月25日(土)
機織り体験



11月11日(土)
そば打ち体験

